



琢磨

主造律
自創規

朝日中通心

生徒数 (令和2.7.1現在) 総数 294名
1年 95名 2年 108名 3年 91名

自分の生き方を求め 今を大切に
朝日中生を育成する

奄美市名瀬朝日29番地1
TEL 52-1195 FAX 53-5650

HP: <http://www.city.amami.kagoshima.jp/asahi-j/>

「結の精神」の継承

校長 夏迫 満弘

今年の生徒会スローガンは、「結」の助け合い 支え合い 繋ぐ 島ぬ宝くです。奄美でこれまで大事にされてきた結の精神を、朝日中에서도引き継いでいきたいという思いから、このスローガンとなりました。

さて、奄美市では恒例行事として、自分の町の現状や未来を考え、その思いや願いについて中学生が市に質問をする形で「市中学生ひかり議会」が毎年開催されています。今年の朝日中代表は、2年生の小幡航太郎さんでした。主な質問内容は、結の島奄美の魅力を最大限に引き出すために市として取り組んでいることは何でしょうか。その上で、市が中学生に望む取組はありますかというものでした。市からは、「市として、教育、福祉防災、まちづくり等に取り組んでおり、中学生には、地域の方々との交流を通して奄美が大好きになり、誇りと自信をもって自慢できるようにしてほしい」という回答でした。これから中学校としても、生徒一人一人がこの回答に近づいていくよう努めていきたいと思っています。

そんな中、二学期になり登校後の時間を使って、1年生女子数名が自発的にボランティア活動を行っています。学校の中で生徒の往来が一番多い生徒玄関から来客用玄関の間は、木の葉などもたくさん落ちてくることから、掃除をしてくれることで気持ちの良い一日を送ることができます。本当にありがとうございます。

また、毎月実施しているクリーン登校でも、一人一人が手持ちの袋いっぱいゴミを集めて登校しています。こうした行動が、地域の人たちの気持ちを明るくしていることでしょうか。

身近な中でこうしたことをやり続けることは、とても大切なことです。こういった行動こそが、結の精神に基づいた行動と言えるでしょう。そして、この結の精神をこれからもしっかりとつないでいこうという気持ちで、今年の生徒会スローガンに謳われています。

体育大会の成功を願って ～対策を工夫し

環境を整備し 思い出に残る大会に

Withコロナ

第六十二回体育大会は、新型コロナウイルス、熱中症対策を意識して、内容を工夫して実施することになります。

生徒は、マウスシールドを着用して実施します。このマウスシールドについては、学習発表会でも再利用するため、名前を記入し、丁寧に扱うように生徒へ伝えたいところです。

また、生徒は弁当を持参し、教室で食べることにありますが、保護者には昼食場所の設定は行わないため、自宅等で昼食をお願いすることになります。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を充実させながら、できるだけこれまでの体育大会と同じようなものに近づけ、生徒の心に残る体育大会になるよう努力していきたいと考えています。

御不自由をおかけしますが、御理解をいただき、御協力をお願いいたします。また、水筒や日傘を準備するなど熱中症対策にも十分に配慮して御参観ください。

保護者入場の流れ

- ① 検温
発熱者は入場不可
- ② リストバンド装着
校内では外しません
- ③ アルコール消毒
- ④ マスク着用で入場

体育大会を迎える準備

八月三十日(日) 早朝の七時から親子ふれ合い作業を行いました。今年から年一回、全員参加の作業となり、多くの保護者の方に参加していただきました。校舎内の修繕から敷地内の草刈り、伐採した樹木の搬送、老朽化した鉄棒の撤去、防球ネットの修繕など、幅広く作業をしていただきました。御協力ありがとうございました。



九月十九日(土) に村上建設株式会社様が、校庭の整地を実施してくださいました。あいにくの雨でしたが、校庭全体のローラーや、樹木の伐採台風で被害を受けた防球ネットのかさ上げをしてくださいました。ありがとうございました。



どうするの わかっちゃいるけど・・・行動が・・・

奄美市内の学校には、緊急地震速報装置が設置されており、その装置を使って地震、津波、噴火を想定した避難訓練を実施することができます。9月2日（水）4校時に震度5強の地震を設定して避難訓練を行いました。なお、生徒には予告なしで、しかも先生方の指示なしで実践しました。

けたたましい発信音の後、「震度5強の地震が発生しました。20秒で到達します。身を守ってください」、「震度5強の地震が発生しました。10秒で到達します。身を守ってください」、「揺れが収まるまで身を守ってください」との訓練放送が流れます。

最初、地震速報装置の発信音や放送が流れても的確な行動がとれていない生徒が多かったようですが、机の下に隠れたり、落下物がないようなところに避難する生徒につられて身を守る行動が伝わっていったようです。

後日、ワークシートを活用して、学級で振り返りを行い、家庭でも防災について考えました。



生徒の課題追及（事後学習から生徒からでてきた課題等）

- (1) クラスで並んで移動するのは適切なのか？
 - 誰がいないかわかるので適切
 - 一人一人が指示を聞いて行動すべきだと思う
 - 固まって移動した方が安全だと思う
 - そろそろまで時間がかかるのなら、危険だと思う
- (2) 整列時に友達がいなかったら？
 - 大声で呼ぶ
 - 周りにいる大人に報告する
 - 絶対に探しにいかない
- (3) 喋らないは正しい行動なのか？
 - 避難場所の指示などはいいと思う
 - 私語は禁止、確認事項や怪我の把握は大切

保護者感コメント

防災バッグを用意してあります。賞味期限の確認もしています。台風、地震等、場合によってはすぐに避難しなければいけない場合が考えられる時には、夜寝る前、足を怪我しないように枕元に靴を置くようにしています。どのようなことが想定されるか、そのためにはどのようなことをしておかないといけないのか？できるだけ、子どもと話をするようにしたいと思います。

先日の台風10号の際、我が家では避難しましたが、そのせいもあってか、娘なりによく理解しているようでそういう意味では、よい経験になったのではないかと思います。一つ加えたとしたら、防災グッズを常備することを考えております。

なかまづくり（あまみっすこやかプログラム）

学期1回計画しているすこやかプログラムが9月4日（金）に実施されました。このすこやかプログラムは、次のようなねらいがあります。

- (1) 学校の所属意識を高め、特別活動に対する意欲を高める。
 - (2) 全校生徒が学年を超えた望ましい関係を築くために努力しようとする態度を養う。
 - (3) 話し合いや合意形成、意思決定する方法の習得を目指す。
- 今回は、体育大会を意識し、1年から3年生までの縦割りで活動を行いました。また、生徒会を中心にプログラムを練り上げ、本部役員と3年生の応援団が主体となって活動を進めました。



生徒感想から

普段、話さない人と同じグループになったとき、どうしようかと思ったけれど、しっかり話すことができ楽しかった。次からは進んで話したりしたいと思います。また、話したことのない人と話せた時、うれしかったので、あまり話さない人にも声をかけてみたい。

なんとなくではありますが、学校全体がすごく明るくなった感じがします。休み時間など周りを見たら、すごく楽しそうに会話し、たくさん笑っていて活動前と比べて自分も元気になったと思います。

最初の無言で誕生日順に並ぶプログラムは、緊張してコミュニケーションとかいろいろできてなかったけれど、伝言ゲームでは、夢中になって自然と話すことができました。とても良い活動だったと思います。次のすこやかプログラムがとても楽しみにになりました。

10月行事

- | | |
|------------------|------------------|
| 1日（木）3年緑化活動 | 10日（土）学級弁論大会 |
| 2日（金）2年緑化活動 | 16日（金）クリーン登校 |
| 3日（土）中間テスト部活停止開始 | 18日（日）市民清掃 |
| 5日（月）生徒会役員改選 | 23日（金）2年眼科検診 |
| 6日（火）1年緑化活動 | 29日（木）学習発表会リハーサル |
| 8日（木），9日（金）中間テスト | 30日（金）学習発表会 |

